

令和4年度墨田区地域ケア会議「地域における高齢者の活動について」 における課題及び方向性について

1 自主グループ等の活動場所に関すること

【課題】

高齢者の活動への参加促進のためには、自宅から近く移動できる範囲に活動場所があることが必要である。地域によっては高齢者の活動に使用できる場所が少ない場合があり、スペースの確保が必要である。また、施設利用料の負担が活動継続にあたっての課題となっている。コロナ禍の影響により、感染対策のため少人数で活動することになり、一人当たりの施設利用料負担額が大きくなったことも影響している。また、同様にコロナ禍の影響で、民間等で貸し出していた施設の利用が休止しているケースも見られる。

【方向性】

● 区の役割

地域集会所の減免制度の活用など関係各課と連携した区施設のスペースの活用を進める。また、スペース提供に協力する民間事業者等を募り登録する仕組みを構築し、活動場所に関する情報の集約及び整理を行う。

● 地域包括支援センターの役割

圏域内の活動場所が不足している地域の把握や、活用できるスペースの情報収集を行うとともに、活動場所と活動者とのマッチングを行う。

● 区民、事業所等の役割

地域のスペース等を活用し、ニーズや興味関心に合わせて、介護予防等の活動や交流等を行う。

また、事業所等は高齢者がいきいきと活動できる地域づくりにつながるよう、可能な範囲でスペースの提供に協力する。

2 高齢者の活動参加の機会に関すること

【課題】

新型コロナウイルス感染症の影響により参加の機会が減少したことや、参加のニーズを持ちつつも活動等の機会に結びつかないことから、高齢者がフレイルや孤立の状態になっていることが、課題として挙げられている。

状態や興味、関心に合わせた多様な参加の機会があることで、高齢者の活動等への参加を推進することができる。また、男性が参加しやすい機会が少ないことも課題である。

加えて、老化や疾病等による心身の変化や介護サービスの利用を契機に、地域の通いの場等への参加を止め、つながりが途絶えてしまうことも課題となっている。

【方向性】

● 区の役割

個別地域ケア会議の結果から、多様な機会創出のニーズとして「男性が参加しやすい活動」「運動以外の文化的な趣味等を通じた活動」「同じ疾病などを持つ人同士が集まる場」「デイサービスから移行する人が参

加しやすい場」などが挙がっており、そうした心身の状態に応じて参加しやすい活動や、興味・関心に合う活動、得意なことを生かせる活動の立ち上げやマッチングについて、地域包括支援センターとともに方向性を協議し、全区的な取り組みの推進を図る。

- 地域包括支援センターの役割

上記のような多様な機会について、圏域のニーズの分析を行った上で、資源の把握や立ち上げ、活動の支援、ニーズとのマッチングを行う。

- 区民、事業所等の役割

ニーズや興味・関心に合わせて、多様な活動機会へ参加する。

3 活動の参加者や担い手の増加に関すること

【課題】

高齢者が参加する活動では、町会、自治会を基にした活動が多く行われているが、担い手が高齢化している場合もあり、新たな担い手が加わるきっかけ作りが重要である。

また高齢者が、ニーズや状態にあった地域の資源の情報を得られていない場合がある。高齢者のニーズと資源とのマッチングを促進するためには、高齢者に関わる事業所等の専門職からの働きかけが有効であるが、そうした資源の情報が専門職に知られていない場合も多くみられる。

【方向性】

- 区の役割

高齢者と関わる専門職を通じたマッチングなど多様な高齢者のニーズに合わせた情報発信や、高齢者が地域活動の担い手として活躍するきっかけづくりのための取り組みなどについて、地域包括支援センターとともに実施方法を検討し、取り組みの推進を図る。

- 地域包括支援センターの役割

圏域内の高齢者の活動参加に関わる情報を把握、集約し、高齢者のニーズとつなぐほか、専門職等が活用できるよう情報発信を行う。また、高齢者の活動等への参加のきっかけづくりのための取り組みを行う。

- 区民、事業所等の役割

活動の場所や機会に関する情報を受け取り活用するとともに、ニーズや興味・関心に合わせて活動の担い手として活躍する。また、高齢者に関わる専門職等は、ニーズに合わせた資源の情報提供を行う。